

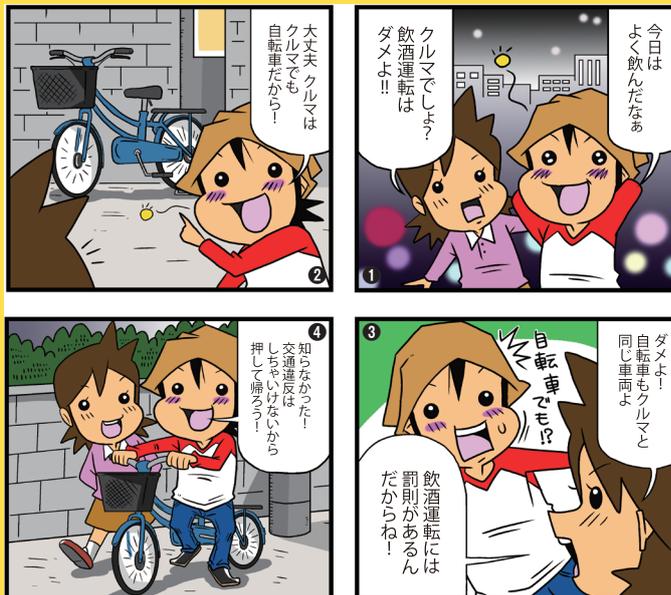
SJクイズ ?

[問題編]

Q₁

酒酔い運転の運転者への罰則として正しいものは次のうちどれでしょう？

- ① 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
- ② 5年以下の懲役又は50万円以下の罰金
- ③ 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金



Q₂

酒気帯び運転の基準となる呼気1ℓ中のアルコール濃度は次のうちどれでしょう？

- ① 0.10mg 以上
- ② 0.15mg 以上
- ③ 0.25mg 以上

Q₃

飲酒運転の死亡事故率（平成27年）は「飲酒なし」の何倍でしょう？

- ① 約 3.8 倍
- ② 約 5.8 倍
- ③ 約 7.8 倍

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

Q1 解答 ① 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金

<解説>

「酒酔い」とはアルコールの影響により車両等の正常な運転ができない状態で、酒酔い運転をした場合は5年以下の懲役又は100万円以下の罰金となり、免許取消し（欠格期間3年）となる。飲酒運転は極めて悪質・危険な犯罪である。一人ひとりが「飲酒運転を絶対にしない、させない」という強い意志を持つことで、飲酒運転は防ぐことができる。

Q2 解答 ② 0.15mg 以上

<解説>

呼気中1ℓ中のアルコール濃度が0.15mg以上で酒気帯び運転となり、酒気帯び運転をした場合は3年以下の懲役又は50万円以下の罰金となる。

また、飲酒運転をするおそれのある者に対する車両や酒類の提供者、酒気を帯びた者が運転する車両の同乗者にも下記のような厳しい罰則があるので注意が必要である。

| | | |
|-------------------------|----------|---------------------|
| 飲酒運転をするおそれのある者に対する車両の提供 | 運転者が酒酔い | 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金 |
| | 運転者が酒気帯び | 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金 |
| 飲酒運転をするおそれのある者に対する酒類の提供 | 運転者が酒酔い | 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金 |
| | 運転者が酒気帯び | 2年以下の懲役又は30万円以下の罰金 |
| 酒気を帯びた者が運転する車両への同乗 | 運転者が酒酔い | 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金 |
| | 運転者が酒気帯び | 2年以下の懲役又は30万円以下の罰金 |

Q3 解答 ③ 約7.8倍

<解説>

平成27年の飲酒運転全体での死亡事故率*は5.20%。飲酒せずに運転して発生した死亡事故率は0.66%であることから、飲酒運転の死亡事故率は約7.8倍となる。これは飲酒運転による交通事故が死亡事故につながりやすいことを示している。

飲酒すると、安全運転に必要な情報処理能力、注意力、判断力などが低下している状態になる。そのため、「気が大きくなり速度超過などの危険な運転をする」「車間距離の判断を誤る」「危険の察知が遅れたり、危険を察知してからブレーキペダルを踏むまでの時間が長くなる」など、飲酒運転は事故に結びつく危険性を高めるのである。飲酒したら絶対に車両等を運転してはいけない。



出典：警察庁資料

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736